

みらいとんでん火災 続報- 西日本防災システム

2010年3月13日未明札幌市北区の認知症高齢者向けグループホーム「みらい とんでん」で火災が発生し、入居者の男女7人が死亡した事件で、北海道警は1月18日、グループホーム運営会社の社長を業務上過失致死容疑で書類送検しました。北海道警は、社長が防火管理を怠ったことが重大な火災につながったと判断し、起訴を求める「厳重処分」の意見を付けたようです。

送検容疑は、防火管理者の立場にありながら、1階に置かれた灯油ストーブの周りに入居者が近寄れないよう柵を巡らすなどの適切な措置を講じないまま、ストーブの使用を続け、火災が発生し、7人を死亡させた疑いです。

この施設では、入居者が洗濯物をストーブの上に置くことが日常的に行われていたようです。道警は現場の状況から、入居者が洗濯物をストーブに置いたことが火災につながった可能性が高いとしています。

市消防局によると、「みらい とんでん」は消防法で義務付けられた消防計画や消防用設備の点検報告を提出しておらず、消防局が行政指導していたようです。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

